

## 夏越しの茅の輪さん

全国の神社では六月と十二月の年二回、『大祓』というお祓いを実施し、凶らずも自分自身に付いてしまった罪や穢れを清めるお祭りが執り行われます。当地では古くから稲作や畑作が盛んでしたので田植えの繁忙期を避けて七月の夏季例大祭にあわせて執り行われるのが習わしとなっています。また、青カヤやヨシ・ササなどでこしらえた『茅の輪さん』をくぐって上半期のご守護への感謝と下半期の無病息災を祈念するのが風物詩となっております。

罪・穢れはそうしようと思っただけでわざわざ犯すものではありませんが、『ついうっかり』とか『結果的に』という場面がままあるものです。

一年の中と末の半期に一度、ご自身のお住まい近くの氏神さまや職場や学校近くで見守って下さる神さまにお参りし、罪・穢れを祓い心身のリセットをするのが大祓（おおはら）え。

その大祓の上半期に行うお祭りが夏越し祭です。

新型コロナウイルスによる疫禍もようやく日常との共存を目指す段階に差し掛かって参りました。当社では厄除けの笹茅の輪を設置し、ご参詣の皆さまの息災をともに祈り致しますので、期間中どうぞお参り下さい。

粟津天満神社

加古川戎神社